

11・6労働者集会へ！

全学連（斎藤郁真委員長） 書記局通信

2016年10月26日

No.418

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

京大処分と東北大3243人雇い止め撤回を！

10.18東北大集会打ち抜く！



10.21国際反戦デーに先立って、『京大生への処分と東北大3243人雇い止めを撤回させよう！10.18東北大集会』を、川内北キャンパス中央でお昼休みの時間帯に、東北大学学生自治会とみやぎ連帯ユニオンの共催で打ち抜きました。

昼集会は、この間議論してきた学生や地域の労働者の仲間が結集する中で圧倒的な注目を生み出し、キャンパスを歩く学生・教職員の中に、いつもの昼休みのチラシ配りの約10倍のビラが吸い込まれ、多くの討論が生まれました。

学生自治会からは基調提起として、この集会が10.21国際反戦デーと11.6－12東京ソウル国際共同行動の一環として取り組まれていることを確認した上で、“大学の戦争動員と東北大3243名雇い止め、京大生への処分といったことは個別それぞれ起きている問題ではなく、資本主義の危機の中で起きている一連の問題だ。だからこそ学生・労働者・大学・地域・国といった枠を越え団結して立ち上がることが勝利の道だ”と訴えました。続いて、共催団体であるみやぎ連帯ユニオンからは、



10月から新委員長となった鈴木光年さんが、自らの雇い止めの経験も踏まえながら非正規職労働者の怒りを訴え、非正規職撤廃を目指す労働組合として3243名と共に大闘争を展開することを宣言。

さらに、集会のために駆け付けてくれた京大被処分者の阿津良典くんは、戦争や原発、雇用破壊の問題に触れながら「いま大学当局は社会に一切責任を取れていない」「本来、大学は労働者・学生のものであるから、それをまるごと全部取り返したい」「そのためにも大学で、そして社会の全

機関でストライキをやるしかない」と、昨年来ますます戦争反対のストライキの意義が高まって来ていることを訴えました。その後、昼休みの一時間、集会に参加した学生・労働者が代わる代わるマイクを取って、それぞれの思いを語り、今後の闘いへの意欲を燃やしました。

また昼集会の高揚を引き継ぎ、夕方に行った阿津くんと東北大生の交流会にも多くの東北大生が参加し団結を固めました。

この間、私たちはみやぎ連帯ユニオンと共に、本部のある片平キャンパス、医学部・大学病院のある星陵キャンパス、工学部や理学部のある青葉山キャンパスなど、これまで私たち学生自治会が中心的に活動してきた川内キャンパスから活動領域をぐっと広げて情宣活動を行ってきましたが、そのことによって大学の内外から多くの共感が寄せられてきています。学生と労働者がスクラムを組んで東北大ストライキに立ち上がる時は日一日と近付いています。10.18集会を跳躍台としながら、11.6ー12東京ソウル国際共同行動の大成功に向けて突き進みます。あと2週間、全力で闘いましょう！



国境をこえた団結で朝鮮侵略戦争と労働法制改悪阻止へ！

11・6全国労働者総決起集会

11月6日(日) 正午 東京・日比谷野外音楽堂

民主労総11・12労働者大会

11月12日(日) ソウル

<呼びかけ> 全国民主労働組合総連盟ソウル地域本部(民主労総ソウル地本)／国鉄千葉動力車労働組合(動労千葉)／全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部(関生支部)／全国金属機械労働組合港合同(港合同)